

NIC

TOPICS

JANUARY
2020

- | | | |
|------------------|----------------|-----------------------|
| innovation | sustainability | efficiency |
| project | prototyping | serendipity |
| happy work place | playful | creating shared value |
| collaboration | coworking | diversity |
| solution | network | exciting |
| open laboratory | fail fast | heart to heart |

2nd

anniversary



NICCA イノベーションセンター



ガーデンスクエアは、熱気あふれるイベントの場としても活用されています。



「日本塗料工業会技術委員会」野島委員長(日本特殊塗料(株)代表取締役会長)(右)と弊社江守社長(左)。

BAZAAR 2.0

NICの来場者数が 10,000人を突破

NICは、人が集まり交流によってイノベーションを導く場となることを目指して2017年11月にオープンしました。商談・技術交流会・研修・見学・イベントなど様々な目的で訪れる多くの方々のおかげで、活気と刺激にあふれています。約2年を経て、NICへの来訪者は10,000人を超えました。

NICは、心と心をつなぐ場

できるだけ多くの人に来ていただく、いつもワクワクドキドキする場にしていこうというコンセプトは、予想を超えた賑わいとして具現化しています。BAZAARのフェーズは、“face to face”から、“heart to heart”に進化しています。人が集う場から心と心をつなぐ場として、この1年に様々な活動が行われ、数々の思いもよらない新しい出会いがありました。



産業技術総合研究所 中鉢理事長(写真中央)が来社。界面科学、特に分散剤にも造詣が深く、高い関心を示されていました。



大阪・神戸米国総領事かれん・ケリー氏が来社。見学後、福井商工会議所幹部・福井県企業トップとの懇談会が行われました。



杉本福井県知事(写真中央)が来社。技術展示スペースでは、熱心なご質問を受けました。

NIC ガーデンレクチャーから紡ぐ未来



理化学研究所 生命機能科学研究センターの辻孝チームリーダーのレクチャーがきっかけで、毛髪科学研究所と理化学研究所の共同研究が始まりました。将来に向けた基盤研究に取り組んでいます。



MO-SOミーティングでプロトタイプを手に議論

若きアントレプレナー、エレファンテック(株)の杉本雅明副社長のレクチャーに触発されて、妄想を膨らませたモノづくりに自発的に取り組む“MO-SOミーティング”が生まれました。広義のデザインの力を活かしてプロ

ジェクトをつくる福井市のXSTUDIOとのコラボや、福井伝統工芸アイドル誕生への協力、大手企業のオープンラボ活動等との交流会、企業の開発課題へのプロトタイプ提案など、広く活動の輪が広がっています。



自社開発の透過型スクリーン Dia Lumie®を用いた試作



杉本副社長の講演



江守社長とのランチミーティング



XSTUDIOの成果発表会でのMO-SOブース展示



福井伝統工芸アイドル“さくらいど”のオーディション



企業へのアイデア提案会



三井化学(株)の「そざいの魅力ラボ(MOLp™)」との交流会

働き方を変える つながりの力

2期目を迎えたNICCAつながりプロジェクトが、社内コミュニケーションを活性化する様々なイベントを実施しました。毎月の誕生日交流会、グローバル掲示板、登山の会など。また就業後のちょい飲みトーク会“アクティブトーク・フライデー”では、普段顔を合わせる事のない社員同士の、仕事を離れた交流が行われました。社外の活性化活動とのコラボも始まり、HAPPY WORK PLACE、BAZAARのコンセプトが、拡大しつつあります。



ちょい飲みトーク会“アクティブトーク・フライデー”には、100人を超える社員が参加、江守社長自らお肉を提供



スポーツフェス2019(主催:福井テレビ)に27名が参加



社員によるおいしいコーヒーの淹れ方講座



誕生日交流会



グループ企業内SNSを使い、グローバルに展開した意見交換用掲示板



文殊山(福井県)登山

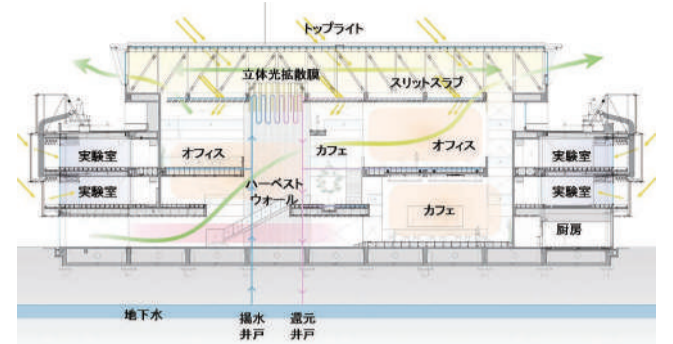


アイシン・エイ・ダブリュ工業(株)の社内活性化ワーキンググループと交流

建築とその活用に対して、数々の評価



2018年度 JIA 日本建築大賞 優秀建築100選の中からグランプリを受賞



日本建築家協会が選んだ2018年の優秀建築100選の中から最高峰の日本建築大賞を受賞しました。日本のモノづくりの研究所がどうあるべきかを示していると評価されたものです。設計者の小堀哲夫氏は、史上初の2度目の受賞となりました。



第32回 日経ニューオフィス賞 クリエイティブ・オフィス賞 近畿経済産業局長賞

日本経済新聞社と経済産業省の諮問機関であるニューオフィス推進協会が快適で機能的なオフィスを選ぶ日経ニューオフィス賞において、クリエイティブオフィス賞、同じく近畿ブロックにおいて、最高賞の近畿経済産業局長賞を受賞しました。研究員の意識改革を促す、イノベーションにつながる新しいコンセプトが認められたものです。



近畿経済産業局長賞の表彰式で江守社長が挨拶



第50回 中部建築賞



中部建築家協議会が主催するもので、設計・施工・施主である小堀建築設計事務所、清水建設、日華化学が共同で受賞しました。オフィスという名の居心地の良さを実現し、楽しく働きたい、自由なスタイルで仕事をしたいくところにとどり着ける建物であるとの講評をいただきました。



International Architecture Awards 2019

CORPORATE OFFICE BUILDING部門 優秀建築賞



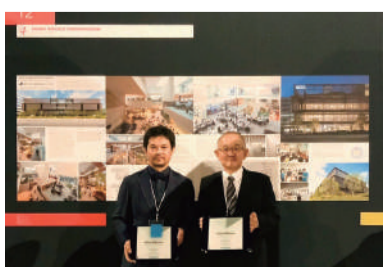
小堀哲夫氏と界面科学研究所長 稲継取締役

シカゴ建築ミュージアムとヨーロッパ建築アートデザインセンターが主催する賞で、41ヵ国120の建築物の中から企業オフィス部門で優秀建築賞を受賞しました。ギリシャ・アテネで授賞式が行われました。



Dedalo Minosse International Prize 2018-19

デダロ・ミノッセ国際建築賞 特別賞



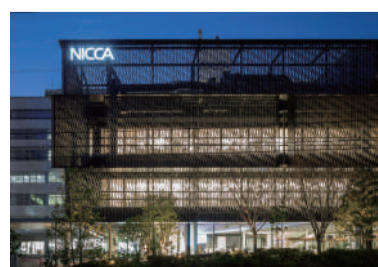
小堀哲夫氏と吉田シニアアドバイザー

イタリア建築家協会が主催し、建築家と施主とのコラボレーションを2年に一度評価するもので、イタリアのヴィチエンツァ市で開かれました。NICは、特別賞に選ばれました。



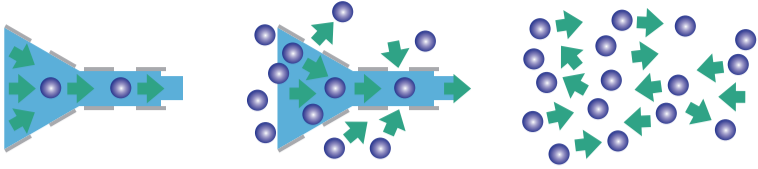
The Architecture Masterprize 2019

Institutional Architecture部門



国際的に最も権威の高い建築賞のひとつで、世界で活躍する建築やデザインのプロフェッショナルに、新たな基準を提示することを目的としている賞です。建築・インテリア・景観デザインの融合で、建物の形・構造・空間を創り出し、人間性を蘇らせるものとして、研究施設部門で世界の4件のひとつに選定されました。

オープンイノベーション2.0が進行中



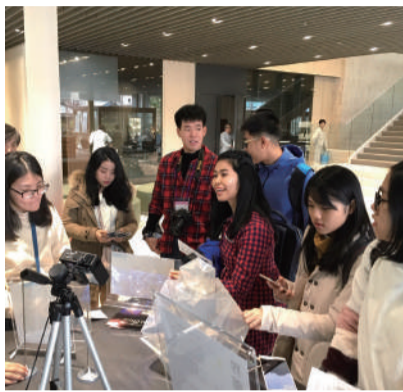
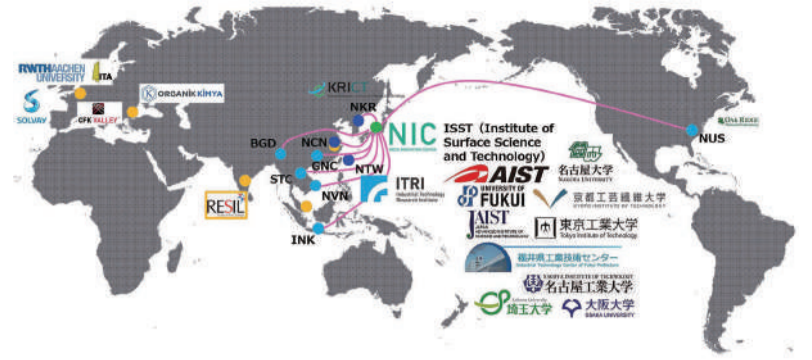
Closed Innovation

Open Innovation

Innovation Network

欧州委員会が提唱したオープンイノベーション2.0は、ユーザー/市民参加型のネットワークによるイノベーション活動です。NICでは地域や団体の共創活動の場として利用される機会も増え、自然なかたちで産官学民の横断型のつながりが実現しつつあります。

(参考/経産省 オープンイノベーション白書第2版)



海外の官公庁・学生の研修・見学

1/24
THU

東ティモールの若手公務員など、海外から企業見学や研修で多くの方々が来訪。福井大学が主催する日本・アジア青少年サイエンス交流事業で来社したタイのプリンセスチュラーポン高校の生徒たちは、技術展示スペースで次々と熱心な質問を連発して、その意識の高さには驚かされました。



高校生対象の、リケジョイベント

3/9.21
SAT THU

福井大学による県の助成事業として、理系女子高校生を対象とする研修イベントが2回開催されました。初回は化粧品、2回目は化学品において、実験・ワークショップ・トークセッションが行われました。



環境認証 ZDHC 国際セミナー

6/7
FRI

繊維製品の製造の際に有害物質を使用しないことを目的とする認証団体ZDHCに、日華化学は日本で最初に加盟しました。東アジアディレクターのLydia Lin氏が来日し、ZDHCプログラムと導入を解説する国際セミナーがNICで開催されました。国内初のセミナーだったため業界の関心も高く約130名の参加がありました。



日華化学俳句会が、華やかに

6/15
SAT

日華化学俳句会は、当社で長い歴史を持つグループ活動です。今年で50周年になることを記念して、俳人高浜虚子の曾孫で、日本伝統俳句会常務理事の坊城俊樹氏をお招きして、ご指導をお願いしました。若いメンバーも加わって活躍しています。



江守アジア留学生育英会の表彰式

7/11
THU

公益財団法人 江守アジア留学生育英会の認証式と懇親会が行われました。同会は福井県内の国公立大学で学ぶアジアからの留学生への奨学金制度で、2019年度は4カ国から13名が選ばれました。



関係大学教授の見学・交流会

9/9
MON

当社研究員の出身大学研究室教授、教員の方々をお招きし、ポスター発表や見学会、交流会を2年連続で実施しました。学生時代の恩師と思い出を語り合い、現在どんな仕事をしているかを知っていただく機会となりました。新しい連携が始まったり、先生方同士の思わぬつながりが生まれたりしています。



“新採用学” セミナーを開催

11/16
SAT

新採用学は、企業の人事担当者向けに福井大学が主催している国の地域創生推進事業(COC+)です。同事業のコーディネーターを務める当社吉田シニアアドバイザーと、同志社女子大学 上田信行教授、ハイライフ研究所 杉本浩二上席研究員の、NIC建築プロジェクトの関係者が登壇して、最近の就職事情等を講義しました。



福井テレビ開局50周年 記念番組制作協力

11/30
SAT

福井テレビの開局50周年を記念して、中国杭州市と韓国春川市のテレビ局と共同制作する「バックの3国なんでも研究所〜日本・中国・韓国/発酵は素晴らしい!〜」という番組の撮影が、NICで行われました。

NIC アートギャラリー

福井にゆかりがある様々な分野のアーティストを支援しながら、NICに訪れるお客様や社員に新鮮な驚きと好奇心の種を毎回提供するギャラリー。絵や彫刻だけでなく、創造的な新しい表現作品を展示しています。



ベルギーの版画家、マルニクス・エヴェラールト氏の「世界と宇宙を見る方法」

天野華恵氏の日本画「知らない世界の境界線」

齊藤はるか氏のアニメ「かれらは シリーズ 春」

Editor's note

NIC開所後1年の歩みをまとめた記念誌を2018年末に発刊し、メインテーマであるBAZAARの2.0への進化を表明しました。それからさらに1年余り、おかげさまで多くの方々にお越しいただき、賑わいは今も続いています。こうして様々なできごとを振り返ると、つながるべき人とつながることの不思議さに感銘を覚えます。NICを介して出会い、

心と心が通うことこそ、人を、事業を、そして社会を変えるイノベーションの原動力であることを確信しています。(MM)

日華化学株式会社

910-8670 福井県福井市文京4-23-1 TEL.0776-24-0213(代)
NICCA / www.nicca.co.jp NIC / nic.niccachemical.com

